

会議議事録

会議名	令和4年度第1回 宝塚市自立支援協議会 定例会	場所	2-4会議室
		開催日時	令和 4年 10月 18日(火) 14:00 ~ 15:10
出席者	出席者・・・20名		
	議題	内容(決定事項等について)	
	1. 自己紹介		
	2 ~令和4年度第1回全体会 (令和4年11月4日)に向けて~ (1) 全体会プログラム(案)につ いて	<p><令和5年度以降の自立支援協議会専門部会の編成について> 令和5年度から『けんり・くらし部会』について、現行の「地域生活Grとワーキング」をくらし部会に、「地域移行Gr」をけんり部会に編成することを検討している。けんり部会では権利擁護、くらし部会は地域包括ケアシステムの観点で協議していただきたいと考えている。</p> <p>・最初聞いたときは懸念もあったが、けんり部会で権利擁護を幅広く議論することは重要だと考える。くらし部会でもこれまでの議論を大事にしながら、お互いの専門部会で重なるところもあるので、定例会にて意見交換できれば良い。</p> <p><市長報告について> 専門部会の委員から市長報告が復活しないのかと問い合わせを受けたことがこの議題のきっかけ。市長報告を前提としない、専門部会の委員で取り組む現在の形が良いのではないかと考えている。議論の中で市で取り組まないといけない点については、市の幹部である部長が全体会に出席しているので、部全体として把握、施策に活かしていく。</p> <p>・以前市長報告をしていたが、今は部内での取り組みを全体会で伝えていくのが良いのではないかと。 ・我々の取組を全体会で報告し、部内で共有してもらえらる形で良いのでは。</p> <p>・障害福祉計画、ガイドライン(支給決定基準)などとの連携がうまくいっていない。今後は自立支援協議会が計画等と連携していくのが良いと思う。</p>	

(2) 啓専門部会活動経過報告
について

○けんり・くらし部会<地域生活Gr> : 部会長
これまでに1回開催。いろいろな立場の方が集まっているので共通している内容の議論に力を入れてきた。地域生活について共通して感じている障碍(がい)の理解、普及・啓発を中心に議論してきた。まちづくり協議会、民生委員と協力する取組を継続していきたい。
コロナ禍で障碍(がい)のある方がかかりつけ医に相談することでコロナ対応がスムーズにいった、地域との連携がうまくいったという意見があった。かかりつけ医を持つことの議論を広げたい。定例会、全体会で話題を一緒に共有、検討していければと思う。

○けんり・くらし部会<地域移行Gr> : 副部会長
2回開催。本来であれば退院したり、地域に戻ることができる方ができていない現状がある課題について議論してきた。地域移行の実践については「考える会」にて相談支援専門員が継続して議論し、部会において発表することとなった。相談支援事業所との情報共有、お互いの課題を話し合えるようになってきている。けんり・くらし部会の再編によって意思決定支援、成年後見制度などの権利擁護の視点で幅広く意見を出し合っていきたい。

○しごと部会 : 部会長
3回開催。共同受注窓口グッドジョブの経過報告をした。また、今年度も宝塚市福祉事業所合同説明会をオンラインで開催予定。その他、「はたらく」について委員の考えを出し合っている。社会的貢献視点ではない雇用の在り方、当事者の働く力、適正をどのように大切にしているかを共有した。部会を通じてアセスメントの重要性を再認識してもらいたいと考えている。次のステージへ何をどうつなげるかを想像し、教育時から実際の就労まで、仕事に関する考えを協議していきたい。今後セミナー等の開催や、他部会との意見交換の場など、広げていけたら。

○こども部会 : 部会長
こども部会3回、プロジェクトチーム会議を1回開催。6月に性教育の講演会を行った。対面とリモートで100名以上参加。家族と支援者が半分ずつ。発達障碍(がい)の性教育の必要性を感じた。
こども部会で支援マップについて検討するプロジェクトチームを作った。誕生してから大人になっても一生使えるもの、社会で子どもたちが生きて行くための正しい情報とつながる、保護者の不安軽減を目指して作ろうと思う。自立支援協議会こども部会ならではの、保護者から見た子どもたちの困ったところからフローチャートのような形で、教育と福祉サービス経験者の親と繋がるような内容を掲載したい。配布は3歳児検診、保育所、学校等、福祉施設等を考えている。冊子にQRコードをつけ、知りたいところに繋がるようにしたい。約2年かけて作っていききたい。

○意見交換

・子ども家庭総合支援拠点のチラシは？(こども部会)
→総合支援拠点のチラシは現在作成中。行政の相談窓口が網羅されているもの。こども部会ではそれとは違って困り感をスタートに考えている。親としては将来どうなっていくのか不安があるので、できれば高齢になるところまでのせたい。各部会の皆様の協力をお願いしたい。

・2年かけていくということだが、情報の更新は考えているのか？(こども部会)
→まだそこまで議論できていない。

・しごと部会のアセスメントについて具体的な活動を検討しているか。アセスメントはどの部会も重要なことだと思う。(しごと部会)
→関わる人がそれぞれの時期にアセスメントしていて、何を重要視しているのか、しごと部会で広げていけたら。

・たからっ子ノートの見直し時期は？(こども部会)
→たからっ子ノート活用ガイドブックを作成し、ようやく認知されてきた。高校卒業以降も記録としてあったほうが良いとなるかなと思う。今は支援マップを議論し、形が見えてくればたからっ子ノートの見直しを検討していきたい。

3 その他(連絡事項等)

<障害(がい)福祉基金の活用について>

障害福祉基金については、平成30年度から福祉金を積み立てており、現在は年間7~8千万円を事業に充てている。事業について施設の整備以外は事業化できた。

<障害福祉サービス等ガイドラインの振り返りについて>

今年1月から改訂、8月に運用結果の振り返りを行った。今後定期的に見直して周知していきたい。

・財政的に厳しく、障害福祉サービス費を維持するためにいろんなところを平準化していく中で、他市より高いところを下げて、足りないところを上げていく。全体会では地域含めいろいろな委員がいるので、自立支援協議会で障害福祉サービスが置かれている状況について報告してもらいたい。具体的な中身については検討会で議論していく。ご意見があればメールか電話で障害(がい)福祉課まで。